

平成25年度全国学力・学習状況調査が4月24日に実施され、大東市においても全市立学校の小学校6年生1,215名、中学校3年生1,164名が調査に参加しました。

今回の調査は、平成21年度以来4年ぶりの全国の公立小中学校の全校が参加する調査でした。

調査内容は、国語及び算数・数学の知識に関するA問題と活用に関するB問題による「学力調査」、児童・生徒に学校生活や家庭生活の様子をたずねた「児童・生徒質問紙」、各学校に取り組み状況や教職員の意識についてたずねた「学校質問紙」からなっています。

教育委員会では、分析した調査結果を学校での「授業改善の工夫」および児童生徒の「学習意欲の向上・基本的生活習慣の定着」に役立てるとともに市の教育施策に反映させてまいります。

問教育政策室 ☎870・9643

小学校 学力調査の結果より

国語については、A問題では漢字の書き取りやことわざで、正答率が全国を上回る設問がありました。「文の定義を理解すること」などに課題があります。B問題では「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くこと」などに課題があります。

算数については、A問題では、「四則計算」「数量関係」がよくできていました。特に小数、分数の四則計算で、正答率が全国を上回る設問がありました。「量と測定」「図形」については課題があります。B問題では「数と計算」「量と測定」「数量関係」で正答率が低く、筋道を考えて解答する力に課題があります。

中学校 学力調査の結果より

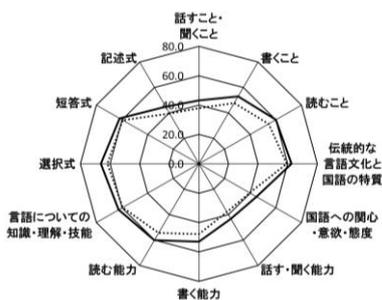
国語については、A問題では「読むこと」や「言語についての知識・理解・技能」がよくできていました。漢字の書き取りで正答率が全国を上回る設問がありました。B問題でも「読むこと」ができていました。自分の考えを書く記述式の設問の正答率が低く、書く力に大きな課題があります。

数学については、A問題では「数と式」「図形」「資料の活用」で正答率が全国を上回る設問がありました。「関数」については、課題があります。B問題では「数学的な見方・考え方」の正答率が低く、数学的な表現を用いて説明したり、数学的に説明したりする力に課題があります。

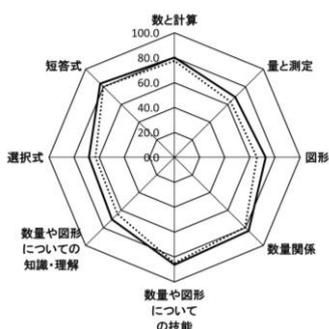
<平均正答率>

●●●● 大東市
—— 全国

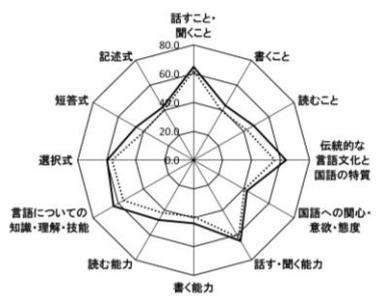
国語A
大東市：59.2%



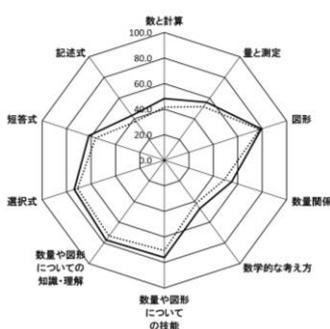
算数A
大東市：73.0%



国語B
大東市：44.8%



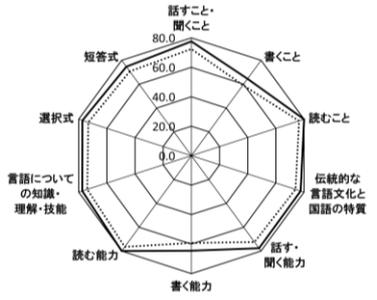
算数B
大東市：53.7%



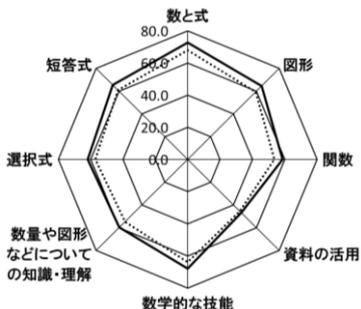
<平均正答率>

●●●● 大東市
—— 全国

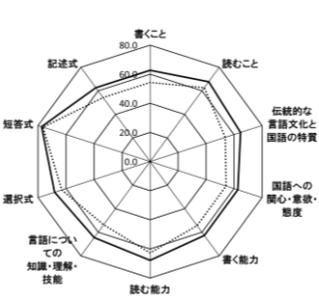
国語A
大東市：72.3%



数学A
大東市：59.0%



国語B
大東市：61.7%



数学B
大東市：34.5%

